

Feng-Shui Gallery

special edition vol.16

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『オフィス』



【写真1】まるでカフェにいるような気分になるミーティングブース。天井と照明のデザインも丸や円で構成されていて、円滑なディスカッションが可能な空間となっています。【写真2】床の色合いや壁面が色彩豊かな会議室は、活発な意見交換が可能です。その効果を高める為に、照明（壁面のウォールウォッシャーやペンダント）に工夫を凝らしています。【写真3】執務室は業務によって色分けすると良いでしょう。ミントグリーンの壁面は頭がすっきりする効果があり、仕事に集中しミスを出さないよう工夫されています。【写真4】営業業務のスペースは、黄色やオレンジの壁面にする事で、エネルギーや活力を感じるスペースとなっています。【写真5】全体的にブルーでまとめられた執務室は、冷静な判断を下せるというような効果があります。ポイントに赤やストライプ柄を用いることで、脳への刺激と上昇志向を促すように設定されています。

【大写真】円と曲線を多用した、包み込まれるようなデザインのエントランスホールは、訪れる人に安心感や落ち着きのあるイメージを与えます。ウッドとオレンジの色彩が、大人の為のラウンジスペースのような印象を与え、空間の質を高めています。

円や曲線を多用したデザインのオフィス空間は、無機質なイメージ払拭し脳と心を豊かにして、業務に取り組むことを可能とします。

住空間と同じように、オフィス空間も人間が生活するうえでとても大切な周辺環境といえます。人によっては家にいるよりも会社にいる方が多い、ということもあるでしょうから、その空間環境からは多大な影響を受けているといえます。

住空間と同じように、曲線や色彩を意識してデザインするのはもちろんですが、オフィス空間の場合、その会社のイメージに合ったデザインにすることも重要です。また、エントランスホール、執務室、会議室など、スペース毎の使用目的によって、色彩やレイアウトを工夫することで、業務効率のアップや有意義な会議、訪問した方々へのイメージアップ等の効果が期待できるでしょう。

風水

ワンポイントアドバイス

『お正月飾り』

色紙や発色の良い布地を敷物として使用したり、照明を有効に活用してディスプレイすることで、お正月飾りをインテリアのアクセントとして使用することができます。

家の内装イメージに合わせて敷物の色を変えてみたり、洋風のお宅はクリスマスリースをアレンジしてみるのも良いでしょう。

